

# かわちのタイムス

2013.8.1発行 No. 4

かわちの社労士事務所

社会保険労務士 喜多裕明

〒577-0027 東大阪市新家中町 6-7

T) 06-6784-4556 F) 06-6785-7133

http://kawachino.org



我が家の夏(夕顔&風船蔓)

勤務時に経験して  
いますが、社会  
保険庁から日本  
年金事務所など、  
役所の対応・雰  
囲気の変化を感じ  
ています。労働保  
険の算定基礎届も  
経験し、次回から  
は電子申請にもと  
りくみたいと考  
えています。

長田駅周辺のビルを訪問  
する中で、独立開業された社  
長さんに相次いで出会うこ  
とができました。

今年前半は、開業のための  
研修、社労士としての研修に  
多くの時間を費やしました。

東淀川区)、高槻市  
などに出向き、各  
地の労働基準監督  
署・ハローワー  
ク・年金事務所を  
回っています。

お二人とも四月に会社設  
立され、社会保険労務士を探  
しておられたところでした。

後半は社労士業務に関わる  
二つの資格取得をめざして、  
業務と研修の二刀流?にとり  
くみたいと考  
えています。

▼長田界限での出会い△  
「知ってるつもり」の地元  
でも、初めて立ち入るビルな  
りです。中学や高校の同窓生と  
の思いがけない再会もありま  
した。

地元の企業様の仕事は、気  
軽に訪問してスピーディーに  
処理することができるので、  
当事務所としても大変助かつ  
ています。

◆建設業界との出会い◇  
ご近所の社長さんとの出  
会いをきっかけに、建設業の企  
業様の労働保険(労災・雇  
用保険)・社会保険(健保・厚  
生年金)加入の手続きを連続し  
て受託することができました。

●創業者様との出会い○  
長田駅周辺のビルを訪問  
する中で、独立開業された社  
長さんに相次いで出会うこ  
とができました。

■研修を通じての出会い□  
今年前半は、開業のための  
研修、社労士としての研修に  
多くの時間を費やしました。

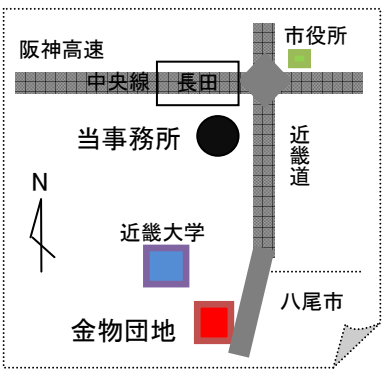
開業から半年を過ぎ、多  
くの方々との出会いに恵  
まれ、社労士としての経  
験を重ねてきました。

# 出会いを大切に… イベントも社労士として。



# 金物団地を訪ねて 次は高井田地域へ

産業集積  
地を行くⅡ



から梅雨に終わった六月下旬、日本初の総合卸商業団地（昭和四十二年誕生）の「大阪金物団地」を訪ねました。

団地は近畿自動車道沿いに近畿大学の南側、八尾市に隣接して立地しており、当事務所からは自転車です。20分です。

団地の取り扱い商品は幅広く、建物金物・建材、家庭金物、利器工具、水道金具、鉄鋼二次製品、非鉄金属材料、鋳螺（びょうろ）、日曜大工用品まで、「住まいと暮らしの総合卸団地」と言えるでしょう。

今回は、例によって本社限定で金物団地約60社のうち37社を訪問し、開業のご挨拶をおこないました。

社長さんとお会いできた会社は多くはなかったのですが、幸運にも団地の理事長さんと面談することができました。

団地内の結束を固め伝統を守りながら、新商品の開発や通信販売など新しい分野に積極的にとりこんでおられる様子をお聞きすることができました。

開業直後から始めた挨拶回りには、意岐部（おきべ）校区、楠根校区など地元中心に500社に達しました。

七月下旬からは、全国でも有数の工場密度を誇る東大阪市の中でも、最も集積密度の高い地域のひとつである高井田地域を歩いています。

**文楽** だからおもしろい  
(人形浄瑠璃) vol.1

いもせやまおんなていきん  
『妹背山婦女庭訓』  
(国立文楽劇場)

文楽は大阪が発祥の地でありながら、その人気は大阪では長く低迷していました。

「国立劇場（東京）は満席、国立文楽劇場（大阪）はガラガラ」という状況が一変したのが昨年です。

ユネスコ無形文化遺産の文楽に対して、政党代表を兼務する大阪市長が「補助金削減（後に打ち切り）」を表明。世界中を驚かせ、その反動で皮肉にも大阪公演の盛況が実現したのです。

かくゆう私もご多分に漏れず、昨秋から古典芸能鑑賞は歌舞伎のみから、文楽へもジャンルを広げたわけです。

文楽は太夫（語る）・三味線（弾く）・人形使い（遣う）の三者からなります。さらに、主な人形は三人がかりで一体を動かします。

こんなに手の込んだ（面倒くさい）芸能がせつちちな大阪人に受けなかったのも無理はないと思います。しかし、劇場に足を運ぶと、そこには大阪らしいほのぼのとした雰囲気がありました。

夏休日文楽特別公演の初日、名作「妹背山婦女庭訓」を鑑賞しました。

物語は、藤原鎌足による蘇我入鹿討伐という「大化の改新」前夜の出来事を、杉酒屋の娘お三輪の恋の悲劇として描きます。

お三輪が恋人である求馬（もとま）とめ、実は鎌足の嫡男）を高貴な女性（実は入鹿の妹橘姫）と取り合う場面は、人が演じれば修羅場か、さもななくばドタバタ喜劇になるところです

が、人形だと何とも品があり、可愛らしく感じられます。

お三輪が恋人が本望を遂げることが信じて息絶えるラストは、何ともやり切れない気分になる反面、意表を突かれた面白さを感じました。

舞台の上部には、太夫の語りや字幕表示されます。イヤホンガイドによる解説も利用すれば、初心者でも十分に楽しむことができます。

歌舞伎のみから、文楽へもジャンルを広げたわけです。

文楽は太夫（語る）・三味線（弾く）・人形使い（遣う）の三者からなります。さらに、主な人形は三人がかりで一体を動かします。

こんな手の込んだ（面倒くさい）芸能がせつちちな大阪人に受けなかったのも無理はないと思います。しかし、劇場に足を運ぶと、そこには大阪らしいほのぼのとした雰囲気がありました。

夏休日文楽特別公演の初日、名作「妹背山婦女庭訓」を鑑賞しました。

物語は、藤原鎌足による蘇我入鹿討伐という「大化の改新」前夜の出来事を、杉酒屋の娘お三輪の恋の悲劇として描きます。

お三輪が恋人である求馬（もとま）とめ、実は鎌足の嫡男）を高貴な女性（実は入鹿の妹橘姫）と取り合う場面は、人が演じれば修羅場か、さもななくばドタバタ喜劇になるところです

が、人形だと何とも品があり、可愛らしく感じられます。

お三輪が恋人が本望を遂げることが信じて息絶えるラストは、何ともやり切れない気分になる反面、意表を突かれた面白さを感じました。

舞台の上部には、太夫の語りや字幕表示されます。イヤホンガイドによる解説も利用すれば、初心者でも十分に楽しむことができます。

## 編集後記

▼「ブラック企業」という言葉が世間で普通に使われ、我が家でも流通しています。「ブラック企業」と言われないようにしたいものです。

▼夕顔がきれいに咲くのが楽しみ、朝顔がなかなか咲かないのが悩みの種です。「小さなことにクヨクヨする」の必要もありません。